

令和5年12月定例会補正予算（案）等の概要

1. 編成概要

今回の補正予算では、①地域経済を一層活性化させるほか、②こども施策の充実や③良好な都市基盤・交通基盤の整備などに取り組む。また、指定管理施設等を来年度当初から円滑に運営するための準備を行う。

①地域経済の活性化

商店街の空き店舗に出店する事業者へ奨励金を給付し、出店を力強く後押しすることで、商店街の魅力を高め、まちの賑わいを創出する。

松山空港では、釜山線の新規就航に伴い、航空会社や旅行会社を支援するとともに、無料送迎バス等の費用を追加補正し、国際線の利用促進と一層の観光誘客を図る。

また、債務負担行為を活用し、年間を通じた切れ目のない公共工事の発注に取り組む。さらに、本市へのふるさと納税が引き続き増加しているため、返礼品の購入費用等の関係経費を追加補正する。

②こども施策の充実

今年の7月から開始している学習支援「松山こども塾 まつじゅく」を来年度は4月当初から引き続き実施するため、債務負担行為を設定する。

こども基本法に基づく本市の「こども計画」を令和6年度中に策定する準備を進めるほか、私立幼稚園等2か所への耐震化補助を国の基準額の変更に合わせて増額する。

また、今後学校プールの多くが更新時期を迎えることから、民間施設の活用について可能性を調査するため、モデル校を指定して令和6年度中に実証事業を行う。

さらに、新型コロナウイルス感染症の5類移行やインフルエンザなどの流行に伴い、不足が見込まれる子ども医療費の助成費用を追加補正する。

③良好な都市基盤・交通基盤の整備

伊予鉄道高浜駅から松山観光港間を運行するバス路線で、将来的に自動運転の実証実験を行うための準備を進める。急傾斜地でがけ崩れの防止対策工事を実施するほか、県が実施するJR松山駅の鉄道高架をはじめ、道路や港湾等の事業費の一部を負担し、良好な都市基盤・交通基盤を整備する。

そのほか、キャッシュレス決済ができる本市の窓口を増やし、市民の利便性を向上させる。また、道後温泉本館や松山中央公園等の管理運営を円滑に行うため、債務負担行為を設定し、令和6年度の当初からの執行に必要な準備を行う。人件費については、人事院勧告等に準じた給与の引上げ等を行う。

2. 主な事業

(単位：千円)

① 地域経済の活性化

(1) 商店街空き店舗出店促進事業	11,800
(2) 国際観光客誘致促進事業	31,680
(3) 松山空港利用促進協議会負担金事業	11,931
(4) 松山空港国際化支援事業補助金	8,383
(5) 公共工事の発注・施工時期等の平準化（債務負担行為）	(R5～6 限度額) 103,000
(6) ふるさと納税推進事業	298,848

② こども施策の充実

(1) こどもの学習支援事業業務委託（債務負担行為）	(R5～8 限度額) 24,900
(2) 松山市こども計画策定支援業務委託（債務負担行為）	(R5～6 限度額) 16,000
(3) 私立保育施設等耐震化整備事業	26,195
(4) 松山市立小学校水泳指導等業務委託（債務負担行為）	(R5～6 限度額) 4,800
(5) 子ども医療助成事業	252,500

③ 良好な都市基盤・交通基盤の整備

(1) 自動運転実証調査事業	30,000
(2) がけ崩れ防災対策事業	83,000
(3) 愛媛県土木建設負担金（街路）事業	882,026
(4) 県営港湾・海岸整備事業地元負担金	153,070
(5) 愛媛県土木建設負担金（道路）事業	19,543
・ 窓口キャッシュレス決済導入業務委託（債務負担行為）	(R5～6 限度額) 46,800
・ 職員人件費	346,289

3. 補正予算の規模

(単位：千円)

区分	12月補正額（案）		累計	対前年同期伸率
	通常分	人件費分		
一般会計	3,800,663	300,971	221,922,210	0.25%
特別会計	498,705	45,318	145,739,863	0.62%
企業会計	—	—	50,585,800	3.61%
計	4,299,368	346,289	418,247,873	0.78%
公債管理特別会計	—	—	17,554,100	
合計	4,299,368	346,289	435,801,973	

4. 議案等

○予算案	12件
○条例案	12件
○事件案	18件
(計)	42件
○報告	6件